

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第 18 号
平成23年4月20日発行
発行:千葉県がんセンター

理 念

心と体にやさしいがん医療

私たちは、一人でも多くの千葉県民に、
質の高いがん治療を提供します。

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

事務局長 松本 均



この度の、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

がんセンターでは、千葉県の第6次医療救護班として、医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名の計6名が、3月29日にがんセンターを出発し、岩手県の陸前高田市にある県立高田病院の医療救護として、小友地区の仮設診療所における診療とともに避難所への回診を行い、4月2日の夜に全員元気に帰ってまいりました。報告によると、現地では、自らも震災で被害を受けた医師、看護師、スタッフの方々が被災者の治療にあたっておられるとのことでした。少しでも、お役に立てたとしたら幸いです。また、当センターでは、被災地からの患者さんを受け入れて治療にあっているところです。センタースタッフ一同、今後も東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の支援活動に積極的に参加させていただきたいと思っております。

さて、当がんセンターにおいても、3月11日の地震発生時に大きな揺れがありましたが、患者さんやお見舞いの方々におげがなどがなかったことは幸いでした。また、現状では、建物や設備に特に大きな被害は確認されておりません。計画停電につきましても、現在のところ予定区域外との説明を電力会社からいただいております。一部東北地方に生産拠点のある医療資材の不足が発生しておりますが、通常どおりの診療が行える体制でございますので、患者様、ご家族の皆様にはご安心ください。

今後とも、当センターとしても、微力ではありますが、復興に向けて皆様と一緒に頑張っております。



陸前高田の救援活動

臨床の現場から

がん患者への心のケア

—リラクゼーション技法の紹介—

精神腫瘍科 臨床心理士 堂谷 知香子

がんは身体的な苦痛だけではなく、心理社会的苦痛を引き起こします。がん患者に対する心のケアはすべての医療者が取り組むことではありませんが、それぞれの役割はつらさの内容や程度に応じて図のような4つの段階に分けられます。当院でも各部門、職種が連携を図りながら支援を行っています。中でも精神腫瘍科は専門的な心のケアを提供する部門であり、精神腫瘍医、臨床心理士が支援を行っています。

当科が実施している支援としては、抱えている問題を解決するために相手の考えや気持ちをうかがうカウンセリングや、抑うつ気分や不安、不眠といった症状を緩和する薬物療法などがあります。そして、あまり知られていませんが、リラクゼーションという技法も支援の一つとして用いています。この技法は、身体の緊張状態と弛緩状態を意識化させ、自身の力で状態を調整するスキルを獲得することを目的とします。緊張状態と一口にいても、①動悸、発汗といった“身体症状”、②不安といった“感情”、③「私は不安を感じ、緊張している」などの“認知”、④脅威刺激（例えば検査、がん治療）を回避するといった“行

動”に分けて考えられます。リラクゼーションは4つの緊張状態のうちの“身体症状”を自分の力でコントロールすることにより、認知や感情、行動といった他の部分の変化を目指します。

リラクゼーション技法の中には、呼吸法（深呼吸を用いる技法）、漸進的筋弛緩法（全身の筋肉の緊張を和らげる技法）、自律訓練法（身体の感覚に焦点を当てた技法）などさまざまな種類があります。患者さんの状態、希望、適応を判断し、適切な方法を紹介、指導しています。場所を選ばず実施できること、自身の力だけで行えることがメリットとして挙げられます。また、明らかな問題を抱えていなくとも、ストレス関連疾患の予防や健康増進に役立つとされており、患者さんだけではなく、ご家族や我々医療者の生活の質の向上にも貢献できます。

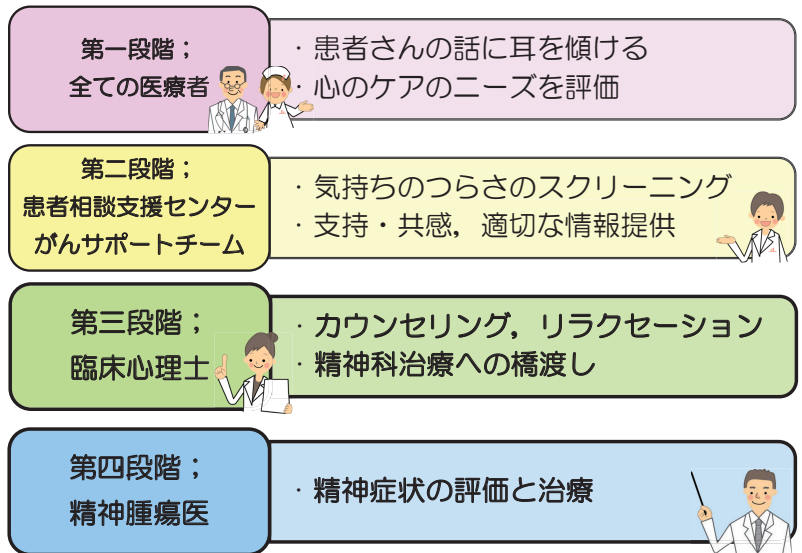
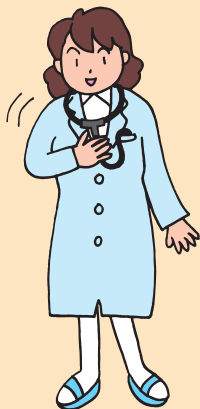


図 心のケアの支援体制

『患者相談支援センターの紹介』



患者相談支援センターは、がんの情報提供と“よろず相談”を受けています。

医療ソーシャルワーカー・ピアカウンセラー・看護師が、がん専門相談員として多い日は1日50件もの相談に対応しています。センターの患者さん・ご家族だけでなく地域や全国からの相談があります。

千葉県がんセンターには県内唯一ピアカウンセラー（がんを体験したカウンセラー）がいるということもあり、それぞれの職種の特性を生かして皆さんと一緒に考えていきます。通院中の方のなかにはリピーターも多く、診察や会計の待ち時間に治療・病気に対する思いを話されていきます。

電話でも面談でも相談ができます。予約の必要もないので、「誰に相談すればいいかわからない」「誰かに話を聞いてほしい」と思ったらお気軽にいらしてください。

（患者相談支援センター 中村晃子）

看護の現場から

手術を待つ家族の不安緩和に向けた家族控室のアメニティ改善の取り組み

手術室 河北 るみ子

私

たち手術室看護師は、手術を受けている患者だけではなく、家族への看護も必要と考えています。手術を待つ家族は、患者の手術の進行や予定通り行えているかを心配して手術室を覗き込むようにしたり、終了時間について受付に聞いてくることもあります。手術室では以前の研究から、家族はただ待っているだけでも心身の消耗を感じ、控室の環境が不安や、緊張感・焦燥感を増強させる要因になることがわかりました。そこで、私たちは家族控室が少しでもリラックスできる環境にしたいと思い、取り組みを行いました。

1つめは控室の配置変更です(図1)。控室はオープンスペースで複数の家族が狭い空間で待つ環境であり、家族から「仕切りになっていけばいい」という言葉が聞かれました。現在では、可能な限りひと家族ごとに座れるようにソファとテーブルを置きました。今後、少しでもプライバシーが保てるよう仕切りの設置も予定しています。

2つめは案内板の変更です(図2)。一人で待っている家族が食事のために退席を気にしなくてよいように、軽食が可能である表示を盛り込み、また、手術室・ICU

の位置をポスターに図でわかりやすく表示しました。さらに、各テーブルにもポスターと同じ内容をファイルし、待っている間に目を通すことができるようにしました。

3つめは、インターホンの設置です。家族から「電話の音が緊急の電話かと思い緊張する」という言葉が聞かれ、現在ではICUからの呼び出しには電話の使用をやめ、全てインターホンでの呼び出しに変え、緊張を和らげるようにしました。

取り組み後の術後訪問の際に家族から「家にいる時のようにリラックスして待つことができました。」という言葉をいただき、家族への援助につながったことを感じました。

私達は、これからも家族の気持ちにより添えるように家族の声に耳を傾けていきたいと思えます。

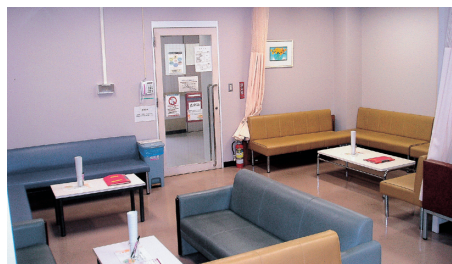


図1

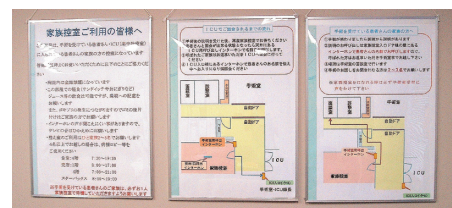


図2

第2回放医研・千葉県がんセンター合同シンポジウム開催



一昨年に放射線医学総合研究所と千葉県がんセンターとの間で締結された協力協定を背景として、本年も合同シンポジウムが2月26日にお隣の淑徳大学看護学部で開催されました。今回のテーマは「その時、あなたならどうする?—子宮頸がん・骨肉腫治療の最前線—」です。

今回取り上げられたこの2つのがんは、手術療法、化学療法に加え、近年特に放射線療法の進歩がトピックとなっています。骨肉腫では従来手術不可能な症例に対する放射線治療は無効であったのが、放医研での重粒子線治療によって

光明が見えてきました。また進行期子宮頸がんに対する治療でも、これまでの手術療法に加え、画像誘導腔内照射や重粒子線治療といった選択肢が増えてきました。二つの病院で行われているこれら最新の治療が、放医研と当院の7名の医師により一般の方にもわかりやすく紹介されました。

またスペシャルゲストとして、子宮頸がんを乗り越え、現在参議院議員として子宮頸がん予防ワクチンの普及にご尽力されている三原じゅん子氏にご講演いただきました。氏の本課題に対する熱い情熱がひしひしと伝わってくる講演でした。

来年以降もこのような有意義な会が存続することを祈念いたしております。

(整形外科 岩田慎太郎)

がんセンターニュース バックナンバーのお知らせ

千葉県がんセンターニュースは、当センターが独自に発行している機関紙です。がんの最先端技術や最新の治療法の研究など様々な情報を皆様にお届けしています。

これまで「臨床の現場」では、がんの治療における当センター独自の診断・治療法を、また「研究の現場」では、臨床に直結するがんの最新研究を、さらに「看護の現場」では患者さんが安心して治療をうけていただけるよう様々な看護サポートについてそれぞれ紹介してきました。バックナンバーはホームページ上で閲覧可能です。また、ホームページには、当センターの診療内容、診療を支える部門の紹介、受診方法などについて、いろいろな情報をわかり易く掲載しておりますので、ぜひご覧ください。ホームページアドレスは <http://www.chiba-cc.jp/index.html>。または、

がんセンターニュース

でWeb 検索

なお、バックナンバーを希望される場合は患者相談支援センターまで希望される号と部数をご連絡ください。

外来診療担当医表

診療科	曜日	月	火	水	木	金
よろず外来					竜	
消化器外科		永田 趙 池田	山本(宏) 早田 鍋谷 朴	滝口 貝沼 池田	永田 滝口 趙 鍋谷	山本(宏) 早田 貝沼 太田
消化器内科		山口 傳田 廣中	原 傳田 須藤 (PM)高橋	山口 傳田 中村(和) 廣中	原 傳田 廣中	須藤 中村(和) 相馬
整形外科		米本 館崎	石井 岩田	館崎	館崎	石井 館崎 装具外来 (PM)
皮膚科		(PM)末広		(PM)佐藤(貴)		
乳腺外科		岡田 渡辺 山本(尚)	尾内 岡田 山本(尚) 味八木	岡田 中村(力) 山本(尚) 尾内	尾内 中村(力) 山本(尚) 岡田 味八木	岡田 中村(力) 渡辺 (AM)黄
呼吸器外科		木村 飯笹 芳野		木村 飯笹 長門		木村 飯笹 松井
呼吸器内科			新行内 板倉 住本		新行内 板倉	
(アスベスト専門外来)					新行内	
頭頸科		佐々木 河田	佐々木 河田 林		佐々木 河田 林	
泌尿器科		小丸 宮坂 浜野 ウロストミー外来	植田 深沢 塩田	斎 藤 小 林	深沢 植田 小丸 齋藤	宮坂 塩田 コロストミー外来
歯科(口腔ケア外来)		高橋 (口腔ケア外来)	(AM)鶴澤(歯科科) (PM)高橋 (口腔ケア外来)		(AM)笠松(歯科科) (PM)高橋 (口腔ケア外来)	高橋 (口腔ケア外来)
婦人科		(新患担当医)	田中 鈴鹿 大崎 海野	(新患担当医)	田中 鈴鹿 大崎 海野	(新患担当医)
脳神経外科		井内 長谷川	(新患のみ)	井内 堺田	(新患のみ)	堺田 川崎
漢方外来			(AM)小川			
腫瘍血液内科		熊谷 伊勢 山田	酒井(力) 辻村 菅原	酒井(力) 熊谷 菅原	高木 伊勢 熊谷	酒井(力) 辻村 熊谷
緩和医療科		坂下 (PM)渡邊	坂下 (PM)渡邊	坂下	坂下 (PM)渡邊	坂下
精神腫瘍科		秋月(伸)	秋月(伸)		秋月(伸)	秋月(伸)
放射線治療部		幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津
内視鏡検査		原 須藤 相馬	山口 中村(和) 相馬	原 須藤	山口 中村(和)	山口 傳田 原 廣中
超音波検査		中村(和)	廣中		須藤 相馬 (菊池)	
心臓超音波検査				(PM)佐藤(規)		(PM)佐藤(規)
緩和医療センター		渡邊/秋月(晶)	渡邊/秋月(晶)	渡邊/秋月(晶)	渡邊/秋月(晶)	渡邊/秋月(晶)

外来受付時間 午前9時～午前11時
 診療時間 午前9時～午後5時
 ※医師の都合により休診・変更場合があります。
 ※歯科科、皮膚科は、当センター患者様のみの受診可能です。

当センターを受診する場合は、
 地域医療連携室予約担当で
 診療予約をおとりください。
 TEL 043(264)5431



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

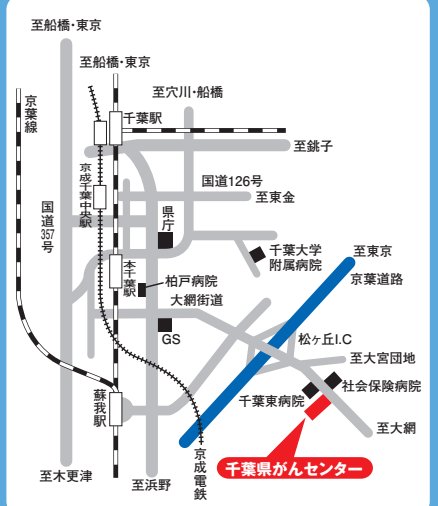
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<http://www.chiba-cc.jp/>